

2025 年度神奈川県石油コンビナート等防災本部訓練（合同図上訓練） の結果について（報告）

1 概要

訓練名称：2025 年度神奈川県石油コンビナート等防災本部訓練（合同図上訓練）

日 時：2025 年 10 月 30 日（木）13:00～16:30

場 所：神奈川県庁西庁舎 7 階統制部室 A、B、及び 704 会議室

参加機関：11 機関（プレイヤー参加機関＋評価機関）

参加者：67 名（オブザーバー含む） 別紙 1

<参加機関>

消防庁特殊災害室（評価者）、神奈川県くらし安全防災局等（消防 G、工業保安 G、局外応援職員）、神奈川県警察本部、横浜市（総務局、消防局）、川崎市（危機管理本部、消防局）、第三管区海上保安本部、ENEOS(株)根岸製油所、東亜石油(株)京浜製油所、神奈川地区広域共同防災協議会、

<オブザーバー>

岡山県消防保安課、京浜特防協、神奈川県高圧ガス保安協会、(株)KSP 大黒
神奈川共同防災センター、(株)K S P

2 訓練内容

石油コンビナート等特別防災区域における災害発生後の対応の習得・習熟及び関係各機関同士の連携強化を図るため、関係各機関の職員が一堂に会し、初動対応を中心とした訓練を実施した。

今年度は、予め公開した訓練シナリオ（横浜・川崎同時発災）に基づき、机上訓練形式で実施した。

<重点訓練項目>

- (1) 災害対応の初動対応の把握
- (2) マニュアル類の把握・検証
- (3) 権限移譲後の災害対応における県と市の連携
- (4) 追加訓練項目
 - ① 消防保安課：消防 G の参画
 - ② 局外応援職員の参画
 - ③ 災害シナリオ事例の活用

<被害想定>

- ・2025 年 10 月 30 日（金）12:00、東京都大田区を震源とするマグニチュード 7.3 の大規模地震が発生し、関係各機関は速やかに災害対策本部を設置して関係被害情報の収集を開始した。
- ・東亜石油(株)京浜製油所では、LPG タンクからガスが漏えいし、火災となり、爆

発の危険性が生じる。

- ENEOS(株)根岸製油所では、原油タンクでリム火災が発生し、全面火災へと発展する。また、栈橋配管フランジ部から海上へ原油が漏えいし、風により漏えい範囲が広がる。
- 倉庫業の事業所（京浜臨海地区（川崎））では、危険物ローリー充填場の配管部に亀裂が入り危険物が漏洩し、火災が発生し、構内排水系統を通じて危険物が海上漏洩する*。

※ 実災害を想定した石油コンビナート等防災本部訓練シナリオ作成等業務委託報告書

（2025 年 2 月（一社）神奈川県高圧ガス保安協会）

<訓練風景>



プレーヤー側



コントローラー側

以上